

文政十二年正月廿四日書

板元 和泉屋



四條北側
大芝居三而
歌舞妓
狂言番附

代名 早雲集

花洛のまはり
宝町の何系
耶那の
一曲
氣道婦女の
色を

はなやま

七五

花洛のまはり、宝町の何系、耶那の一曲、氣道婦女の色を、
もとのまはりのまはり、宝町の何系、耶那の一曲、氣道婦女の色を、
もとのまはりのまはり、宝町の何系、耶那の一曲、氣道婦女の色を、

一等持院より結浄上院のまん
 一 兼 雀野の雲景色の
 一 鳴 原 揚 屋 大 壽 子 え
 一 柳 谷 小 川 神 村 小 幸 山 の 辰
 一 洞 ヶ 止 山 絨 會 合 の 暮 ん
 一 谷 間 又 堂 子 物 音 座 の 辰
 一 一 式 結 味 之 心 密 法 之 辰
 一 宇 治 後 の 極 之 辰
 一 水 淡 淀 屋 子 崎 子 暮 ん
 一 三 津 乃 次 之 辰
 一 珠 之 刺 之 辰
 一 切 狂 言 鏡 山 舊 錦 繪 上 下
 一 深 沙 八 橋 祥 哉 五 の 辰
 一 柳 子 八 橋 祥 哉 五 の 辰
 一 後 者 替 り 名 附 別 券 又 所 之 辰